

100号記念特集号

「人・まち・ふれあい」

第100号発行にあたって



小田原市自治会総連合会長
木 村 秀 昭

このたび、自治会報「人・まち・ふれあい」が100号を発行するはこびとなりました。

また、この1月には、小田原市民功労賞を受賞することができましたが、これもひとえに、諸先輩方をはじめとした自治会に関わる皆様の努力のたまものと感謝申し上げます。

昭和37年4月に「小田原市連合自治会」が結成されてから現在に至るまでの半世紀以上に渡り、地域住民同士の心の通い合う、住みやすいまちづくりを行ってきました。

今後も、26地区の自治会連合会が、それぞれの特徴を生かしながら、地域コミュニティの強化を図ることで、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを進めて参りますので、各自治会をはじめ、地域住民の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。あいさつさとさせていただきます。

「人・まち・ふれあい」

第100号発行を祝して



小田原市長
加 藤 憲 一

小田原市自治会総連合による自治会報「人・まち・ふれあい」の記念すべき第

100号発行を心からお喜び申し上げます。

このように長年にわたり発刊し続けてこられたということは、それと同じだけ自治会関係者が地域を支えてこられた証であり、深く敬意を表すとともに、そのご尽力に感謝申し上げます。

現在、小田原では、地域コミュニティ、ケアタウン、スクールコミュニティなど様々な新しい取組が、自治会をはじめとした地域の方々のご尽力により着実に進んでいると実感しています。

今後も小田原市自治会総連合がまちづくりの主役として一層活躍されることをご期待申し上げます。

「人・まち・ふれあい」第100号の発刊に寄せて

小田原市自治会総連合前会長 石 川 信 雄

地域社会の向上と市民の福祉増進を目的に自治会総連合の広報組織部会を中心に総連合の活動や人と人とのふれあい、各地区の特色等身近な情報を手作りで作成し、直接市民に配布している「人・まち・ふれあい」が第100号を迎えたことを関係者の一人としてこころからお喜び申し上げます。

この会報が各地区の状況を知り、参考にしたり、連携を深め、相互協力や各地区のコミュニティの推進に役立っていると思われます。

継続は力です。今後とも、市民情報紙として益々充実し、市民の協力を得て第200号発行を目指すことを愛読者として応援したいと思います。



会報に見る総連合の歩み

昭和37年 小田原市連合自治会が結成される。(昭和40年 小田原市自治会総連合と改称。)

昭和46年 自治会だより創刊。

昭和47年 山北町豪雨災害で山北町へ救援金5,686,729円を寄付。

昭和49年 山王川・久野川清掃が流域の自治会連合会で始まる。

昭和52年 地方自治功労団体として自治大臣表彰受賞。

平成元年 あいさつ運動を提唱。以後11月に実施。自治会だよりの名称を公募により「人・街・ふれあい」に改称。

平成3年 酒匂川一斉清掃を開催。以後クリーンさかわとして毎年開催。

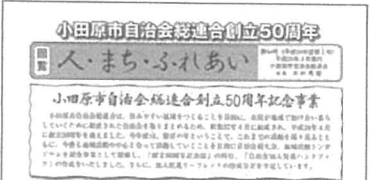
平成7年 阪神・淡路大震災の義援金として31,762,921円を寄付。

平成17年 地域活動シンポジウム開催。以後、毎年開催。

平成23年 東日本大震災の義援金として56,704,351円を寄付。

平成24年 創立50周年を迎え記念事業を開催、ホームページを作成。

平成27年 市民功労賞を受賞。「人・まち・ふれあい」100号発行。



部 会 活 動 紹 介

自治会総連合では、活動と運営をより充実し活性化するため、昭和63年度に、総務部会、広報組織部会、民生福祉部会、生活環境部会の4つの部会を設置しました。現在は総務部会、広報組織部会、環境福祉部会、防災部会の4つの部会が活動しています。

総務部会

事業計画の立案、規約の改正、総連合役員と自治会長との連絡調整、他団体との交流と自治会長大会などの企画をしています。

ブロック会議では、市内の自治会を南部、北部、東部の3ブロックに分け、自治会総連合と各地区自治会長との意見交換や研修など、年2回開催しています。

自治会長大会は、毎年市内の自治会長が集い、長年自治会長を務めた方の表彰や自治会活動の参考になるよう講演会を実施しています。

地域活動推進協議会と地域活動シンポジウムは地域で活動する各種団体との意見交換会と、毎年1月に開催される地域活動シンポジウムでは、地域で活動する団体の発表をおこなっています。



部会長
加藤 芳永

広報組織部会

広報の発行と加入促進を担当しています。

昭和46年に「自治会だより」と題し第1号が発行され、現在は、A4版で年2回発行、全戸配布と回覧が1回ずつ発行をしています。総連合の活動を知ってもらう大切な会報となっています。

加入促進については、近年、少子化、高齢化、単身者の増加など家族構成の変化やマンションの増加、個人情報保護意識の高まりなどの社会情勢の変化などから自治会の加入率が低下傾向にあります。

平成17年から、マンション代表者と自治会の意見交換を行い、参加した自治会未加入のマンションが加入をいただいています。

今年度は加入促進のチラシのリニューアルとポスター作成を行っています。



部会長
関野 次男

環境福祉部会

環境、交通安全、高齢者などが主な検討内容になります。

環境分野では、ごみステーションについて話し合うことが多くなっています。現在のごみの分別回収は、自治会が市や業者と協力し、現在に至っています。住民がリサイクルを意識し、ごみの資源化、減量が進むことで、環境保護や環境美化に繋がっていきます。

福祉分野では、高齢化にどう対応していくかが問題となっています。近年、孤独死ということばが一般化し、隣近所の人と交流のない高齢者が増えてきています。最近では、高齢になったので自治会のお手伝いができないからやめたいという方もいるようです。高齢化が進むなか、地域でも早急に対策を考えていく必要があると感じています。



部会長
椎野 慎章

防災部会

小田原では、これまでも地震による備えを行ってまいりましたが、平成23年3月の東日本大震災を目の当たりにし、防災対策はまだやる必要があるという印象を受けました。震災後は津波避難ビルを選定するため市と自治会が一緒に街歩きを行い、多くの建物所有者と協定締結を結ぶことができました。

また、近年は地球温暖化による気候の変化により、水害や土砂崩れなどの危険性が年々増しており、地震中心だったこれまでの防災の在り方も少しずつ変わってきています。

防災部会では、防災無線や備品、設備の不備、災害時の災害対応などを検討し、意見を市へ申し入れています。



部会長
飯田 和男

小田原市自治会総連合が市民功労賞を受賞

小田原市自治会総連合が平成27年度の市民功労賞を受賞しました。

平成28年1月10日、小田原市民会館で開催された贈呈式には、総連合の木村秀昭会長、元会長の相川文雄様、前会長の石川信雄様、そして理事の方々が出席いたしました。

受賞の功績については、安心して住みやすい社会をつくるため、地域活動を担っている自治会相互の連絡協調を行うとともに、さまざまな活動を通して地域活動の活性化、組織力の向上に努め、より良い地域づくりに貢献したことによります。

受賞に際し木村会長から、自分たちの力だけでなく、これまで頑張ってきた諸先輩方の努力によるものが大きいこと、今後もより良い地域づくりのために活動していきますとのあいさつがありました。



表彰を受ける木村会長



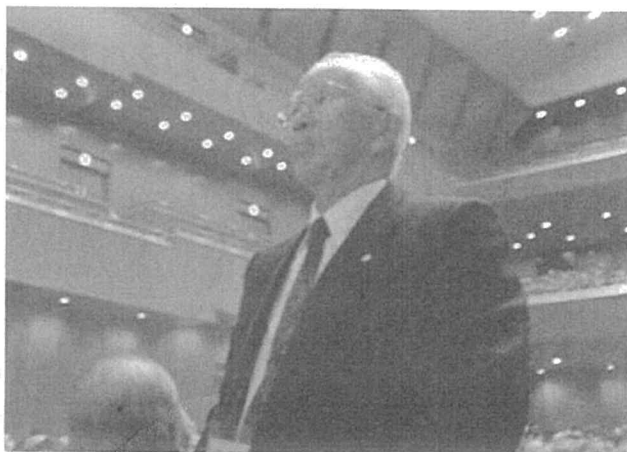
贈呈式後に記念撮影

平成27年度 全国自治会連合会会長表彰

平成27年10月27日に開催されました、全国自治会連合会石川県金沢大会において、長年にわたる自治会活動と総連合役員としての活動に対し、瀬戸充副会長と木村貞雄副会長が全国自治会連合会会長表彰を受賞されました。



全国自治会連合会石川県金沢大会



表彰を受ける瀬戸充副会長